

おとなの社会見学

おまかせください! 家田病院の 肛門科外来

肛門科外来には、同じ悩みを持たれた多くの患者様が来院されます。専門病院として、皆様の悩みや不安の早期解消に努めています。

施設面でも、待合室、予診コーナー、診察室など、男女別になっています。安心して診察を受けることができます。



外から見たところ

診察室

上下に動く電動診察台。楽に乗り降りできます。



女性専用 待合室

明るい待合室でゆったりお待ちいただけます。



予診コーナー

症状をお伺いします。



肛門エコー装置

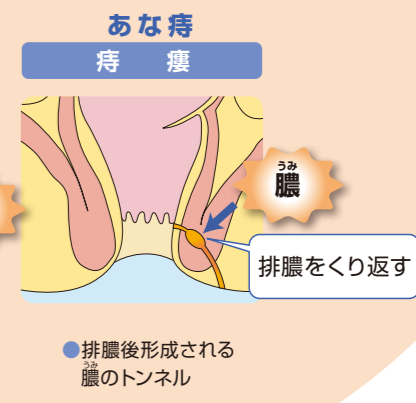
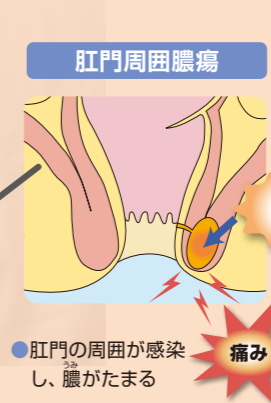
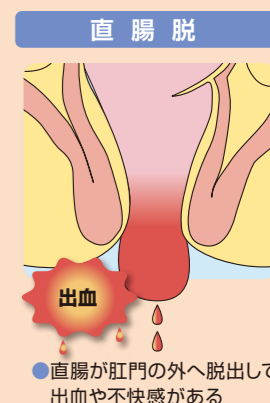
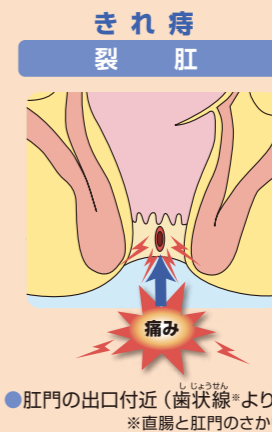
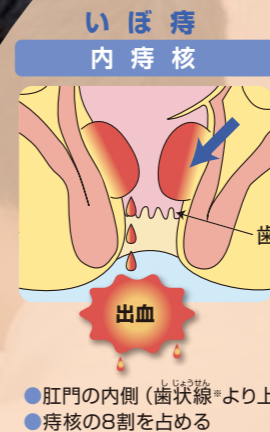
超音波で悪いところがないか調べます。痛みはありません。



肛門内圧機能検査

肛門を閉める筋肉の力を測ります。

こんな病気を診察しています。



高齢者のおしりの悩み

高齢化社会を迎え、排便障害を訴える方が増えています。直腸を支える筋肉を含めた支持組織が弱くなり、直腸が肛門へと下がってくるからです。(直腸脱:右上図参照)

- 残便感がある
- 便がもれることがある
- 出血が続き貧血になる
- 腸が下がる感じ
- 排便回数が多い
- ティッシュなどに薄い血がつく
- 痛みや不快感にて歩行しづらい

このような症状があるようでしたら、早目の診察をおすすめします。

短期入院の手術もおまかせください

いぼ痔の手術では、硬化療法と呼ばれている注射を主とした治療で、痛みも少なく短期で治療する方法があります。診察の際、医師にご相談ください。

ドクター
から一言

家田 純郎

肛門科外来では、問診、肛門の触診、肛門鏡での診察により、病気の診断をしています。その上で必要であれば、肛門の超音波検査や内圧検査により、症状を見極めていきます。不安や恥ずかしさもあるかもしれませんが、自己判断ではなく専門的な視点から診ることにより、正しい治療方法をおすすめさせていただきます。お尻に不安なことがあれば、お気軽に受診してみてください。